

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 64-064901

(43)Date of publication of application : 10.03.1989

(51)Int.Cl.

B65F 1/00

B65F 1/14

(21)Application number : 62-221447

(71)Applicant : D THREE KK

(22)Date of filing : 04.09.1987

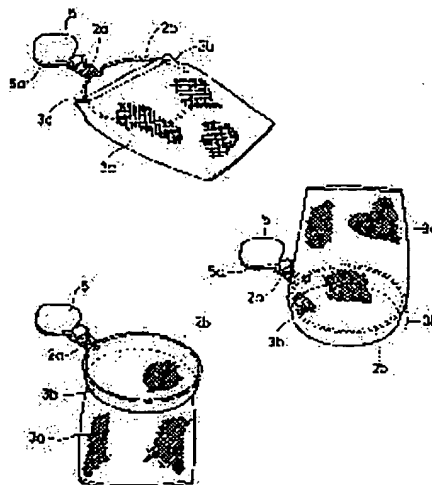
(72)Inventor : IMAZEKI YUKIO

## (54) CONTAINER FOR RECEIVING GARBAGE, ARTICLE OR THE LIKE

## (57)Abstract:

PURPOSE: To make it possible to facilitate the mounting and dismounting of a container for receiving garbage from a kitchen or the like and to ensure the support thereof by engaging a bag having, in its opening part, a neck-in part in the ring section of a bag support frame so that the bag is folded back.

CONSTITUTION: A ring section 2b is inserted into in a bag 3 through the neck-in part 3b thereof and inward thereof, and accordingly the bottom part of the bag 3 is made to stand up with respect to the ring section 2b. Then, the bag 3 is turned over so as to be positioned below the outer periphery of the ring section 2b, that is the bag 3 is suspended by the ring part 2b. In order to remove the bag 3, a part of the neck-in part 3b is picked up, and pulls it outward so that the bag 3 is compulsorily removed from the ring section 2b. The support frame 2 may be attached at a predetermined position by means of an attachment 5. With this arrangement, it is possible to facilitate the mounting and dismounting of the container for garbage or the like and to ensure the support thereof.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭64-64901

⑬ Int.Cl.

B 65 F 1/00  
1/14

識別記号

102

庁内整理番号

E-7214-3E  
A-7214-3E

⑭ 公開 昭和64年(1989)3月10日

審査請求 有 発明の数 1 (全7頁)

⑮ 発明の名称 ゴミ、物品等の投入容器

⑯ 特 願 昭62-221447

⑰ 出 願 昭62(1987)9月4日

⑱ 発 明 者 今 関 幸 夫 東京都江東区木場6-12-1 第一工業株式会社内

⑲ 出 願 人 デイリースリー株式会社 東京都江東区木場6-12-1

⑳ 代 理 人 弁理士 堀山 信是

明 細 書

1. 発明の名称 ゴミ、物品等の投入容器

2. 特許請求の範囲

(1) 開口側にくびれ部分を有する袋と、前記くびれ部分を広げたときの外形より大きな外形のリング部を有し、前記袋を支持する袋支持枠とを備え、前記リング部が前記開口側から前記くびれ部分より奥に挿入され、前記袋が裏返しにされて前記リング部に挿入され、前記くびれ部分が前記リング部の外周の下側に位置して前記リング部に支持されることを特徴とするゴミ、物品等の投入容器。

(2) 袋支持枠は、リング部と取付金具に結合されるブラケット部とからなり、前記リング部のブラケット部との接続部分がリング部の内側方向に曲折又は前記リング部より突出していることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載のゴミ、物品等の投入容器。

(3) 袋が多数の開孔を有するゴミ袋であり、袋支持枠は、流し台に取付られることを特徴とする特許請求の範囲第1項又は第2項記載のゴミ、物品

等の投入容器。

(4) 袋支持枠は流し台に着脱可能な支持具を介して取付られることを特徴とする特許請求の範囲第1項又は第2項記載のゴミ、物品等の投入容器。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は、ゴミ、物品等の投入容器に関し、詳しくは、台所などの調理場において調理後の生ゴミ等を収納するために流し台等に設置されるゴミ投入容器に関する。

〔従来技術〕

従来、この種のゴミ投入容器としては、プラスチック、アルミニウム製の三角形の容器を流し台の角に置くか、このような容器内に袋を内装し、あるいは袋を取付具に取付けて構成され、容器とか袋に生ゴミを投入するような使用の仕方ではゴミが処理されている。

〔解決しようとする問題点〕

しかし、後者のゴミ袋を取付けて使用するものにあつては、確実な袋を取付けるために取付け機

## 特開昭64-64901(2)

柄が必要とされる上に、生ゴミの重さに耐えかねて、取付部分から袋が外れたり、その取付が不確実であったりする。しかも、袋の取付けが煩わしく、取り外し難いなどの欠点がある。

また、三角形の容器などにあつては、直接生ゴミを入れることから、ゴミを捨てた後も、ぬるぬるとして、悪臭が残留し、また、容器自体が調度品に邪魔になることも多い。

この発明は、このような従来技術の問題点を解決するものであって、特別な取付け機構を必要とせず、確実に袋を保持し、かつ容易にゴミ、物品等の投入容器を提供することを目的とする。

## 【問題点を解決するための手段】

このような目的を達成するためのこの発明のゴミ、物品等投入容器における手段は、開口側にくびれ部分を有する袋と、くびれ部分を広げたときの外形より大きな外形のリング部を有し、袋を支持する袋支持枠とを備えていて、リング部が開口側からくびれ部分より奥に挿入され、袋が裏返し

にされてリング部に挿入され、くびれ部分がリング部の外周の下側に位置してリング部に支持されるものである。

## 【作用】

このように開口部側にくびれ部分を有する袋を使用し、これをくびれ部分より大きい外形のリング部に装着して、袋を反転させることによりくびれ部分をリング部に下側で引っ掛けて係止することになるので、確実に袋を取付けることができ、多少大きな力に加えられても外れ難い。

しかも、リング部からの袋の取外しは、袋の上部を破ってもよいし、袋のくびれ部分の一部を一方に引張ればよく、リング部から簡単に外すことができる。なお、このような袋の取外しとか、袋のリング部への装着は、リング部か袋のいずれか一方が可換性のものであればいっそう取外し易く、たとえ、いずれもが可換性のない場合でも、リング部の外径と袋のくびれ部分の径とが一定の関係にあれば十分である。

その結果、特別な取付け機構を必要とせずに確

実に袋を保持でき、かつ容易にゴミ、物品等の投入容器を実現できる。

## 【実施例】

以下、この発明の一実施例について図面を参照して詳細に説明する。

第1図は、この発明のゴミ、物品等の投入容器を調理用生ゴミ収納容器に適用した場合の一実施例の外形図であり、第2図(a)は、その袋支持枠とゴミ袋とを分離した状態のゴミ袋の説明図、第2図(b)は、その袋支持枠の説明図、第2図(c)は、袋支持枠のブラケット部とリング部と取付金具との関係を示す側面図、第2図(d)乃至(f)は、その袋支持枠にゴミ袋を装着する場合の説明図、第3図は、袋の取外し方の説明図、第4図は、袋にミシン目を入れた状態の説明図、第5図(a)、(b)及び(c)は、その流し台への取付け構造の説明図、第6図は、この発明のゴミ、物品等の投入容器を壁掛け用植木鉢容器に適用した他の一実施例の外形図である。

なお、以上の各図において同等の構成要素は同

一の符号で示す。

第1図において、1は、調理用生ゴミ収納容器であつて、リング状の袋支持枠2と、メッシュ状のゴミ袋3とから構成されていて、リング状の袋支持枠2は、そのブラケット部2aを介して流し台6のシンク4の外側四面4aに取付金具5を介し、その端部に枢支され、上下方向に回動可能に固定されている。なお、取付金具5の裏面側には、両面接着シート5a等が貼着されていて、この両面接着シート5a等により取付金具5が流し台6にそれを傷つけることなく固定されている。

ゴミ袋3は、第2図(a)に見るように、水切りのためのメッシュ部3aとその上部に設けられた開口部3cとこの開口部3c側に設けられた50〜100程度の幅のくびれ部3bとから構成されていて、くびれ部3bの内径は、袋支持枠2の外径より小さいものとなっている。なお、ここでは、このくびれ部3bの内径は、次に説明する袋支持枠2のリング部2bの内径にほぼ等しいかそれ以下のものであつて、ここでの袋の径とは、開口部

## 特開昭64-64901 (3)

3 cを円形にしたときのものである。

袋支持枠2は、第2図(b)に見るように、一本の金属棒を曲げてブラケット部2 aと円形のリング部2 bとを一体的に形成したものであって、その両端部が曲折されていて、この部分が取付金具5の固定部5 bに挿入されていて、取付金具5をもって袋支持枠2が流し台8に固定されるものである。しかも、そのブラケット部2 aとリング部2 bとの関係は、第2図(c)に見るように、ブラケット部2 aの先端部2 cがリング部2の内側に向かって傾斜するようになっていて、装着されたときにゴミ袋3のくびれ部3 bがリング部2 bの内周まで覆いかぶさるようになっている。

このような袋支持枠2とゴミ袋3とは、第2図(d)に見るように、ゴミ袋3を扁平にしたときの開口部3 cの幅 $(W = \pi \cdot D / 2)$ 、ただしDはくびれ部3 bの直径がリング部2 bの外側直径 $(D')$ より長くなる範囲を利用し、くびれ部3 bをリング部2 bに装着するものである。

すなわち、くびれ部3 bの直径Dとリング部2

bの外径 $D'$ との関係が $D < D' < W = \pi \cdot D / 2$ の範囲にある場合である。

このような場合には、そのままリング部2 bをくびれ部2 bに挿入してゴミ袋3の奥まで挿通でき、この奥まで挿入した状態でゴミ袋3は、第2図(e)に見るように、袋の底部がリング部2 bに対して上方へ立てられ、次に第2図(f)に見るように、袋が裏返しにされて、リング部2 bの内側に挿通され、くびれ部分3 bがリング部2 bの外周の下側に位置してリング部2 bで支持されるものとなる。

その取外しについては、第3図に示されるように、リング部2 bの外径に接するくびれ部3 bの一部をつまんで、一方向に引き、強制的にリング部2 bからその一部を外せば容易にリング部2 bから全体を取外することができる。

また、ゴミ袋3の材質が比較的強い樹脂等による場合などは、第4図に示すように、くびれ部3 bにあらかじめ縫いのミシン目3 dを入れて置くことで、このミシン目3 dを切断してゴミ袋3を袋

取付枠2から容易に取外することができる。さらに、リング部2 b側の一部を切断しておけば、同様にリング部2 bの径を小さくすることでゴミ袋3は容易に取外せる。なお、ゴミ袋3自体の材料として可塑性のあるものを使用することによっても同様に取外しし易いものとなる。

特に、リング部2 bを切断しておいたり、袋支持枠2を弾性部材で構成すれば、その径を一時的に小さくできるし、ゴミ袋3を可塑性のもので構成しておけば、リング部2 bの内径よりさらに小さな径のくびれ部3 bを形成でき、ゴミ袋3の袋支持枠2との保持関係は強固なものとなる。なお、リング部2 bの一部を切断しておくような場合には、ブラケット部2 aでそれらは一体的に結合されている必要がある。

ここで、ゴミ袋3としては、合成樹脂製のメッシュシートを用いて、これを袋とすることもでき、さらに塩化ビニールとか、ポリエチレンなどの合成樹脂の袋に多数の開孔を設けることでも製造できる。また、メッシュ状の不織布等を使用するこ

とも可能であり、その材質、形状を問うものではない。

ところで、第1図の外観図では、袋支持枠2は流し台8に対して固定取付状態にある。しかし、これは、取脱できるような取付構造を採ることができる。第5図(a)、(b)は、このような場合の袋支持枠10とこれを着脱できるように取付ける取付金具との関係を示している。

袋支持枠10は、ブラケット部10 aとリング部10 bとからなり、ブラケット部10 aの先端部10 cを2本の差込みピン構造として、これに対する取付金具11に2つの挿入溝11 aを設けることで、流し台8に対して水平方向で着脱できるようになっていて、取付金具11が流し台8のシンク4の外側端面にその裏面側に貼着された状態で溝が孔となり、先端部10 cが固定されるものである。なお、この場合には、袋支持枠10は、不使用時に上方向に回転せずに単に取外される。

第5図(b)は、袋支持枠10のブラケット部10 aの部分を差込みピン構造として他の例を示

## 特開昭64-64901 (4)

すもので、この場合には、第5図(a)のものと相違し、垂直方向で袋支持棒10が存続できる。その取付金具11は、差し込み孔11b、11bを有していて、流し台8のシンク4の側壁面に取付けられる。また、この取付金具を第5図(c)に示すような取付金具12のようなものとすれば、シンクが2つのに分割された頃の枠とか、シンクに架け渡したフレームに引っ掛け爪12aを上部から嵌合させて装着するようにもできる。このような取付金具12を用いる場合は、流し8側に接着固定する必要はなく、金具自体も取外し可能であって、袋支持棒10の取付位置が移動できる利点がある。

第8図は、袋支持棒2を室内の柱14に取付け、袋をゴミ袋ではなく、防水性の透明な合成樹脂袋13として、植木鉢をセットするようにした容器の例である。このようにすれば、植木鉢に水を与えても水漏れが防止でき、比較的高い位置に配置されていても袋の取り替え等が容易である。なお、13aは、袋本体であり、13bがそのくびれ部

である。そして、植木鉢自体は袋支持棒10が同時に鉢の支持棒となり、袋自体には大きな力が加わらない。

このような場合には、くびれ部13bの径をリング部10bの径よりあまり小さくしなくても済む。なお、これをゴミ箱等の代わりに使用できることももちろんであり、他の各種の物品投入容器として使用することももちろんである。

以上説明してきたが、袋は、メッシュ状のものに限定されるものではなく、水切り等が必要な生ゴミ袋にあっても、すべてに開孔を設ける必要はない。また、袋のくびれ部の下側に袋の口を締めるための紐を周囲に回して装着しておくようにしてもよい。

袋支持棒の材質も金属に限定されるものではなく、樹脂製のものであってもよく、さらに、その形状も円形である必要はない。楕円形又は四角いものであってもよい。特に、円形でない場合には、くびれ部との関係で枠側が一時的に変形するか、一部に切断部を設けて変形させるような形状とす

ればよい。

また、実施例では、リング部とブラケット部との接続部分をリング部内側方向に曲げてくびれ部が装着され易いように構成しているが、これらは、一体的に構成される必要はなく、別々のものを接合或いは接続して形成してもよい。

また、ブラケット部とリング部との前記接続部分を内側に曲げているのは、くびれ部がリング部の外径に均等に掛かるようにするための逃げ部分を作るためであって、可撓性のある材質の袋を使用すれば、このような曲折部を設けなくてもリング部外周に密着して固定される。このようなものは、袋自体にあまり大きな力がかからないものに使用できる。袋に大きな力が加わる場合には、前記接続部分のようにある程度の傾斜を設けるが、袋のくびれ部を引っ掛けるために逆にリング部側に突起等を設けることができる。

なお、第8図に示すように袋自体に力のかからない袋を支持するような場合には、特に前記のような曲折部を設ける必要はない。

実施例では、ブラケット部と取付金具とが別体となっているが、これらは一体として形成されていてもよい。また、ブラケット部との取付金具、その取付機構は実施例に限定されるものではなく、種々のものを使用できる。

## 〔発明の効果〕

以上の説明から理解できるように、この発明にあっては、開口部側にくびれ部分を有する袋を使用してこれをくびれ部分より大きい外形のリング部に装着して、袋を反転させることによりくびれ部分をリング部に下側で引っ掛けて保止することになるので、確実に袋を取付けることができ、多少大きな力が加えられても外れ難い。

しかも、リング部からの袋の取外しは、袋の上部を破ってもよいし、袋のくびれ部分の一部を一方方向に引張ればよく、リング部から簡単に外すことができる。なお、このような袋の取外しとか、袋のリング部への装着は、リング部か袋のいずれか一方が可撓性のものであればいっそう取外し易く、たとえ、いずれもが可撓性のない場でも、リ

## 特開昭64-64901 (5)

ング部の外径と袋のくびれ部分の径とが一定の関係にあれば十分である。

その結果、特別な取付け機構を必要とせず確実に袋を保持でき、かつ荷脱が容易なゴミ、物品等の投入容器を実現できる。

## 4. 図面の簡単な説明

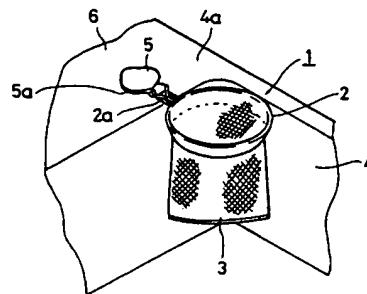
第1図は、この発明のゴミ、物品等の投入容器を調理用生ゴミ収納容器に適用した場合の一実施例の外観図であり、第2図(a)は、その袋支持枠とゴミ袋とを分離した状態のゴミ袋の説明図、第2図(b)は、その袋支持枠の説明図、第2図(c)は、袋支持枠のブラケット部とリング部と取付金具との関係を示す側面図、第2図(d)、(e)及び(f)は、その袋支持枠にゴミ袋を装着する場合の説明図、第3図は、袋の取外し方の説明図、第4図は、袋にミシン目を入れた状態の説明図、第5図(a)、(b)及び(c)は、その流し台への取付け構造の説明図、第6図は、この発明のゴミ、物品等の投入容器を壁掛け用植木鉢容器に適用した他の一実施例の外観図である。

- 1…調理用生ゴミ収納容器、2…袋支持枠、  
2a…ブラケット部、2b…リング部、  
3…ゴミ袋、3a…くびれ部、  
4…シンク、5…取付金具、6…流し台。

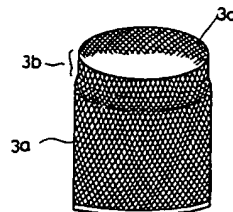
特許出願人 第一工業株式会社

代理人 弁理士 梶山 信 是  
弁理士 山本 富士男

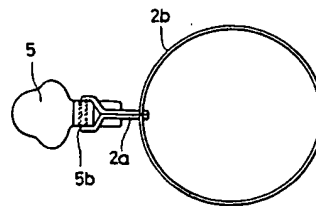
第1図



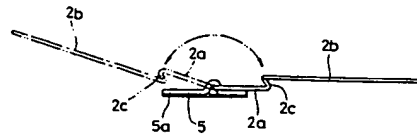
第2図(a)



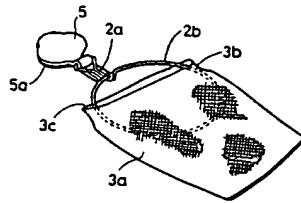
第2図(b)



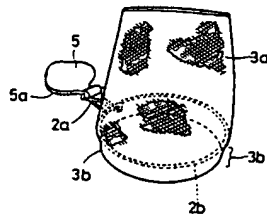
第 2 図(c)



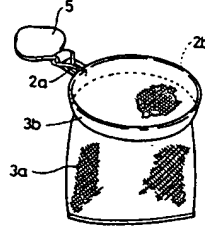
第 2 図(d)



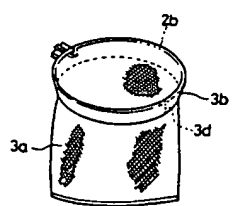
第 2 図(e)



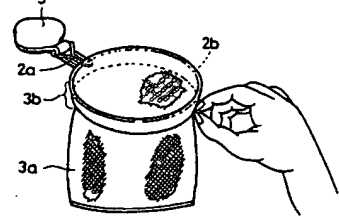
第 2 図(f)



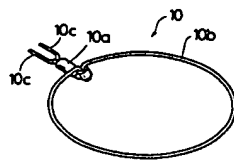
第 4 図



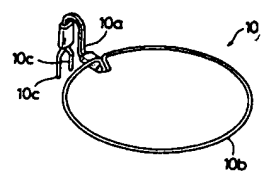
第 3 図



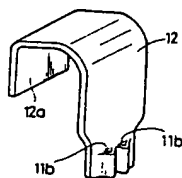
第 5 図(a)



第 5 図(b)



第 5 図(c)





(7)

特開昭64-64901 (7)

第 6 図

